

令和7年度

第3回 八代市社会教育委員会議

日時：令和8年3月17日（火）

午後2時00分～

場所：八代市公民館 会議室A B

次 第

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 事

- (1) 令和7年度生涯学習課の主な事業について（報告）
- (2) 令和8年度生涯学習課の主な事業計画（案）について
- (3) 令和7年度地域学校協働活動について（報告）
- (4) 令和8年度地域学校協働活動計画（案）について
- (5) 熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会について（報告）

4. そ の 他

5. 閉 会

八代市社会教育委員名簿

	区 分	氏 名	団 体 等 名
1		あおはま いっこ 青濱 伊津子	八代校長会小学校部会代表 (八代市立昭和小学校長)
2		さかもと たろう 坂本 太郎	八代校長会中学校部会代表 (八代市立第八中学校長)
3	副委員長	まつもと けいすけ 松本 啓佑	八代市PTA連絡協議会代表 (顧問)
4		みくりの えみこ 三栗野 恵美子	八代市地域婦人会連絡協議会代表 (会長)
5	副委員長	たかくら ちさこ 高倉 知佐子	NPO法人八代市スポーツ協会代表 (副会長)
6		きむら さやこ 木村 鞠子	八代市民生委員児童委員協議会代表 (副会長)
7		とくだ たけはる 徳田 武治	八代地域代表 (市民活動政策課推薦)
8		やまもと いづほ 山本 衣図穂	坂本地域代表 (坂本支所推薦)
9		すすきだ しんじ 薄田 眞治	千丁地域代表 (千丁支所推薦)
10	委員長	いきた ふみあき 生田 文明	鏡地域代表 (鏡支所推薦)
11		いのうえ まさずみ 井上 正澄	東陽地域代表 (東陽支所推薦)
12		おしかた てつや 押方 哲也	泉地域代表 (泉支所推薦)

任期:令和7年8月1日～令和9年7月31日 委員定数16人以内

第3期八代市教育振興基本計画（概要版）

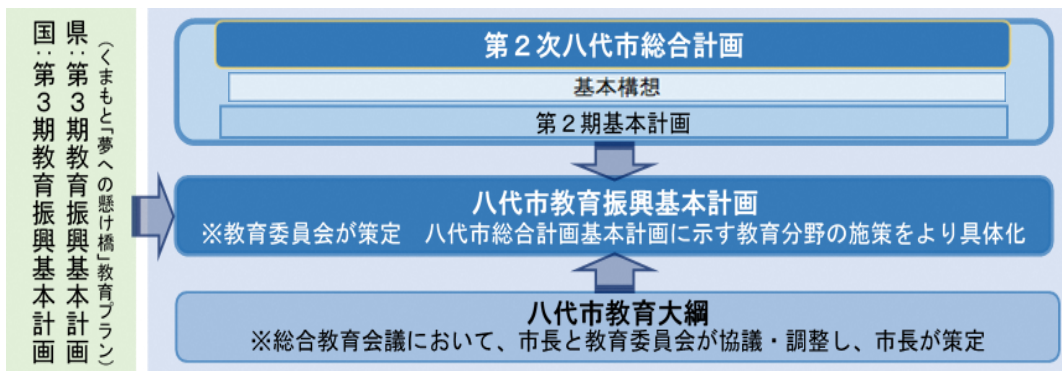
計画期間：令和4年度から令和7年度

1 策定の趣旨

国や県の教育振興基本計画の内容を踏まえ、本市の第2期計画における取組を振り返るとともに、本市が目指す教育の姿の実現に向け、八代ならではの特色ある施策の重点的な推進など、今後4年間の施策の方向性を示すために、「第3期八代市教育振興基本計画」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

2 計画の位置付け

- 教育基本法第17条第2項に基づき策定するもので、国や県の教育振興基本計画を参考にし、本市の実情に応じた教育の振興のための基本的な計画とします。
- 第2次八代市総合計画第2期基本計画に示す教育分野の施策をより具体化する計画です。
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、市長において策定された「八代市教育大綱」の内容を尊重します。



3 計画の期間

本計画の期間は「第2次八代市総合計画第2期基本計画（令和4年度～令和7年度）」との整合性を図るため、令和4年度から令和7年度までとします。

	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
教育振興基本計画(国)	第2期計画					第3期計画							
熊本県教育振興基本計画	第2期計画					第3期計画							
八代市総合計画	総合計画後期基本計画					第2次総合計画 第1期基本計画			第2次総合計画 第2期基本計画				
八代市教育振興基本計画	第1期計画					第2期計画			第3期計画				
八代市教育大綱	第1期					第2期			第3期				

4 基本理念

やつしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり

八代に住む全ての年代の人々の縦のつながり、そして、学校・家庭・地域という横のつながり、さらには、それ以外の立場の人たちとともに、子どもも大人もみんなで糸をつむぐように、互いに関係し合い、刺激し合いながら生涯を通して学習できる、持続可能な地域社会、ふるさと八代を目指します。

5 基本目標

基本目標 1 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます

基本目標 4 生涯を通じて楽しく学べる充実した環境を提供します

基本目標 2 教育環境の整備により学校・幼稚園の教育力を高めます

基本目標 5 郷土の歴史文化遺産に親しめる環境を整えます

基本目標 3 学校・家庭・地域の協働により社会全体の教育力を高めます

基本目標 6 災害からの復興を進め教訓を継承します

6 新型コロナウイルス等の感染症への対応

感染拡大防止と教育活動の両立のための取組を行います。

新しい生活様式の実践

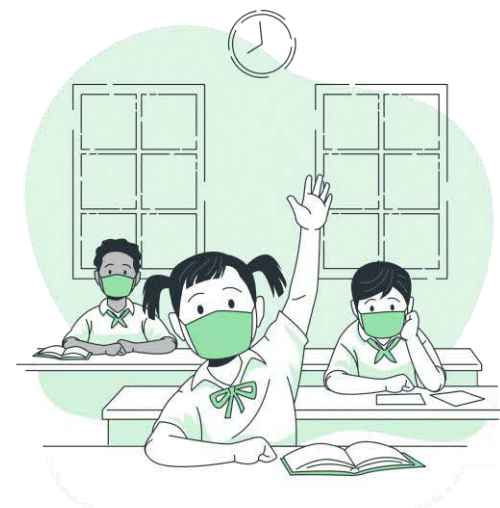
感染予防の取組

デジタル技術を活用した
オンラインの活用等

コロナ禍における教育活動の円滑な推進

偏見・差別の未然防止
心身のケア

ICTを活用した学習を行うための環境整備等



7 施策の体系図

基本理念	基本目標	基本方針	主な施策
やっしらの絆でつむぐ心豊かな人づくり	基本目標 1 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます	基本方針 1 幼児教育の充実 基本方針 2 確かな学力の育成 基本方針 3 豊かな心の育成 基本方針 4 健やかな体の育成 基本方針 5 特別支援教育の推進	①「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育の充実 ②幼・保等、小、中連携の充実 ①「学力向上やつしろプラン」の推進 ②読書活動の推進 ③英語教育の推進 ④キャリア教育の推進 ①不登校問題に対応した支援の充実 ②「いじめ問題」対応の強化 ③道徳教育・郷土学習の充実 ④人権同和教育の推進 ⑤環境教育の推進 ①体力の向上と健康の保持増進 ②適正で魅力ある部活動の充実 ③食育の推進 ①幼稚園及び小・中学校における特別支援教育の充実 ②八代支援学校における特別支援教育の充実 ③特別支援教育を推進する体制の整備 ④保護者、地域及び関係機関との連携
	基本目標 2 学校環境の整備により学校・幼稚園の教育力を高めます	基本方針 6 9年間を見通した「八代型小中一貫・連携教育」の推進 基本方針 7 教職員の資質・指導力の向上 基本方針 8 学びを支える教育環境の整備 基本方針 9 安全・安心な学校づくりの推進	①小・中学校教職員による協働体制の整備 ②9年間の育ちと学びをつなぐ指導の充実 ③保護者・地域と一体となった学校応援団づくり ①教職員の人材育成 ②教育活動の支援 ③教職員の業務効率化の推進 ①学校支援職員等の配置 ②学校ICT環境の充実 ③幼稚園・学校規模適正化の推進 ④就園、就学等への支援 ⑤八代市学校・子ども教育応援基金の活用 ①安全教育・防災教育の推進 ②学校施設非構造部材耐震化等の推進 ③学校・幼稚園施設の整備・充実 ④学校給食施設の再編整備・運営形態の見直し
	基本目標 3 学校・家庭・地域の協働により社会全体の教育力を高めます	基本目標 3 幅広い地域住民等の参画により、学校と家庭、地域が連携・協働して、地域社会で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」気運を高めるとともに、家庭や地域における教育力の向上を図ります。子どもたちの学習を支援する人材の育成や確保を図ります。	基本方針 10 学校・家庭・地域の連携・協働 基本方針 11 家庭における教育力の向上 基本方針 12 地域における教育力の向上
基本目標 4 生涯を通じて楽しく学べる充実した環境を提供します	変化し続ける社会の中で、人生100年時代を心豊かに生きがいをもって暮らしていくため、一人一人の意思によって、自分に適した手段・方法を選択し、生涯にわたって学び続けることができる学習環境を提供します。	基本方針 13 生涯を通じた学習活動の推進 基本方針 14 人を育む図書館づくりの推進 基本方針 15 文化の継承と創造に貢献する博物館づくり 基本方針 16 社会教育施設の整備	①生涯学習推進体制の充実 ②時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供 ③生涯学習情報の提供 ①読書活動の推進 ②図書館資料の収集、保存、提供 ③調査・研究、生涯学習や教育・文化活動への支援 ①特別展覧会及び常設展示の充実 ②調査研究活動の充実 ③博物館収蔵品の充実と保存・継承 ④博物館収蔵品を活用した教育活動の充実 ①公民館施設等の整備・充実 ②図書館施設の整備・充実 ③博物館施設の整備・充実
基本目標 5 郷土の歴史文化遺産に親しめる環境を整えます	郷土の歴史への理解と歴史文化遺産の保存継承の取組が、学校教育や社会教育に有効活用されることで、自分の住む地域への愛着と誇りをもって暮らせるような環境づくりを進めます。	基本方針 17 歴史文化遺産の保存継承と活用	①文化財の調査と保護 ②歴史文化遺産に親しめる環境の整備 ③歴史文化遺産を地域で継承する仕組みづくり
基本目標 6 災害からの復興を進め教訓を継承します	令和2年7月豪雨からの復興を推進するとともに、近年増加傾向にある自然災害に備え、防災教育への理解を深め、災害から得た教訓を次の世代に継承していくための取組を進めていきます。	基本方針 18 災害からの復興推進・教訓の継承	①地震に対する取組 ②豪雨災害による被災地への支援と取組 ③その他災害に対する取組

1. 令和7年度 事業報告について

(1) 人権教育事業

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針1 3…生涯を通じた学習活動の推進

②時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供

〔目的〕

差別のない明るいまちづくりをめざすため、各種大会・研修会への参加を通じて、重要な人権課題の把握に努めるとともに、社会人権教育の一環として、部落差別（同和問題）をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人や新型コロナウイルスに感染された方などに対する偏見や差別意識などに関しても理解が深められるよう、社会教育指導員や専門講師等を活用し、時代の変化に応じた多様な学習機会の提供を行うことにより、市民一人一人の人権意識の高揚に努める。また、校区との協働による人権啓発の取組、及び解放学習等への委託や支援を継続するとともに、人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所の維持管理を行う。

① 人権のまちづくり事業

毎年3校区を推進校区に指定し、人権のまちづくり事業として、まちづくり協議会と連携し地域住民への人権意識の広がりにつなげる取組について協議を行う。

令和7年度は、松高校区・麦島校区・千丁校区の3校区を推進校区に指定し、校区内で実施されるイベントや研修などへの協力、また学習機会の情報提供などのサポートを行った。

※主な内容

●啓発ポスターの各コミュニティセンターへの掲示

実施校区：松高校区・麦島校区・千丁校区

●運営委員会等の会議開催時にあわせた人権啓発動画の上映

実施校区：松高校区・麦島校区

●校区で実施するイベント等にあわせた人権啓発コーナーの設置

実施校区：松高校区・千丁校区

② 連携事業

○八代人権同和教育推進協議会【八同推協】との連携

- ・第49回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会

日時：2025（令和7）年7月26日（土）9：00～16：20

場所：【全体会】桜十字ホールやつしろ 市民ホール

【分科会】八代地域各会場

【基礎講座A】西宮・上日置集会所

【基礎講座C】桜十字ホールやつしろ 市民ホール

参加人数：【全体会】445人

【分科会・基礎講座A・基礎講座C】990人

- ・2025（令和7）年度 八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」

日時：令和8年2月3日（火）9：30～16：20

場所：氷川町文化センター

○部落解放同盟八代支部との連携

- ・2025年度 八代地区人権同和教育夏期現地研修会

日時：令和7年7月24日（木）9：00～16：00

29日（火） //

30日（水） //

31日（木） //

場所：西宮・上日置集会所

参加人数：339人

○八代地域人権教育のための推進会議【推進会議】との連携

- ・2025（令和7）年度 部落差別をはじめすべての差別をなくす
人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ

日時：令和7年12月6日（土）9：00～15：00

場所：八代市公民館

参加人数：239人

③ 八代地区社会人権同和教育連絡協議会【八社人同連】事業

- ・八代地域社会教育団体等人権教育研修会

日時：令和8年1月28日（水）19：00～20：30

場所：八代市公民館 会議室AB

講師：認定NPO法人とら太の会

理事長 山下 順子（やました じゅんこ）さん

演題：『地域の中でともに』

対象者：○八代市・氷川町社会教育団体（婦人会・PTA・子ども会）

○八代市・氷川町教育委員会職員

○人権同和教育・啓発団体関係者

○地域住民等一般参加者

参加人数：46人（八代市：32人、氷川町：14人）

◎今年度の取組や改善報告等

- ・人権のまちづくり事業については、今年度は、松高校区・麦島校区・千丁校区の3校区を人権のまちづくり推進校区に指定し、まちづくり協議会と連携し校区内で実施されるイベントにおいて、人権作品の展示や啓発等を行いました。
- ・八代地区社会人権同和教育連絡協議会【八社人同連】事業については、今年度は【八社人同連】の事務局担当の年であったため、主催事業として『八代地域社会教育団体等人権教育研修会』を開催しました。当日は、46人の参加者で学びを深めました。

◎今後の課題と方向性

- ・様々な人権課題について、更に市民の意識を高めていくために、まちづくり推進校区や社会教育団体などに対して、研修会等への参加を促すなど、学習機会の提供を行う必要があります。

（2）地域学校協働活動事業

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針10…学校・家庭・地域の連携・協働

- ①地域学校協働活動推進事業の充実
- ③ボランティア人材の確保

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの育成を支えていく「地域学校協働活動」を推進するために、学校と地域とをつなぐ「地域学校協働活動推進員」（地域コーディネーター）を市内の全39の小・中・特別支援学校に配置（35人）し、活動を実施した。

① 様々な学校協力活動

〔目的〕

多くの地域住民の参画を得て、登下校の見守りや環境整備（花壇や図書室の整備）、地域の資源を生かした体験活動や授業支援などを通じ、子どもたちの教育活動を充実させるとともに、地域住民自らが活躍できる場を拡充すること、さらには教職員の働き方改革を推進し、持続可能な教育環境を構築することを目的とする。

〔令和7年度実施校〕

市立の全小・中・特別支援学校（計39校）に地域コーディネーターを配置し、各学校のサポートに向けた活動を行っている。

② 放課後子ども教室

〔目的〕

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画による多様な体験・学習活動を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

〔令和7年度実施校〕 ※放課後児童クラブの設置がない学校が対象

○昭和小学校

参加児童数：23人（1年生10人・2年生3人・3年生10人）

実施時間：毎週月曜日14時40分～15時40分

内容：宿題サポート、工作教室、和太鼓・空手体験、缶バッチ作り 等

令和7年度実績：23回 参加者延べ267人

※3年生は月に1度（和太鼓）のみ。

○泉小学校

参加児童数：9人（1年生3人・2年生2人・3年生4人）

実施時間：毎週火曜日及び金曜日の14時30分～16時00分

内容：宿題サポート、カレンダー作り、バルーンアート、体づくり運動
工作教室 等

令和7年度実績：47回、参加者延べ308人

【実績は令和8年1月報告分まで】

③ 地域未来塾

〔目的〕

様々な家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対して塾の講師や教員OBの協力による学習支援を

行う。

[令和7年度実施校]

○第三中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2～2.5時間程度

科 目：夏休みの課題、数学

実 績：実施回数3回、延べ93人

○第四中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み及び冬休み期間中 1.5時間程度

科 目：夏休み及び冬休みの課題、英・数・社

実 績：実施回数4回、延べ68人

○第六中学校

参加生徒：希望する生徒（3年生）※3学期からは2年生を対象に実施

実施時間：通年（主に水曜日） 2時間程度

科 目：英・数学

実 績：実施回数26回、延べ509人

○日奈久中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中、11月～月1回 2時間程度

科 目：夏休みの課題、英語、入試対策

実 績：実施回数6回、延べ163人

○二見中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：通年（毎週水曜日または金曜日） 2時間半程度

科 目：英語、数学

実 績：実施回数29回、延べ372人

延べ実施回数 68回、延べ参加生徒 1,213人

【実績は令和8年1月報告分まで】

④ 不登校・別室登校対策

〔目 的〕

本市の重要な教育課題の一つである不登校・別室登校問題について、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応し、誰一人取り残すことのない教育環境の構築を目指す。

〔令和7年度の取組内容〕

○主任児童委員・退職教職員等地域人材との連携

- ・内 容…地域学校協働活動事業（報償費）を活用、またはボランティア人材を活用し、別室登校児童・生徒への学習支援や話し相手となる支援を実施。
- ・実施校…太田郷小学校、植柳小学校、麦島小学校、東陽小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、第四中学校、第六中学校、千丁中学校、鏡中学校、東陽中学校

○地域における放課後の居場所づくり（smiling フレンド）

- ・内 容…学校外の施設を利用し、八代高校の生徒たちによる、児童への学習支援と、クイズやボードゲームなどの遊びを通じた交流を実施。（地域コーディネーター及び校区住民自治の青少年育成部会と学校が連携した取組）
- ・実施校…代陽小学校
- ・実績……実施回数：18回
参加人数：小学生5人、高校生（インターアクトクラブ）10人

【実績は令和8年1月末現在】

⑤ 各種研修等

○地域コーディネーター同士の交流及び情報交換会

日 時：令和7年5月20日（火）10時55分～11時30分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

参加者：地域コーディネーター23名

○地域コーディネーターと教職員によるワールドカフェ

日 時：令和7年8月6日（火）10時～11時30分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

参加者：地域コーディネーター19名、教職員27名、退職校長会6名

○地域コーディネーターを対象とした不登校児童や生徒への関わり方についての講話

日 時：令和8年2月17日（火）10時50分～11時30分

場 所：八代市公民館 会議室 AB

参加者：地域コーディネーター16名

◎今年度の取組や改善報告等

- ・「ボランティア人材バンクガイドブック」を全校および地域コーディネーターに配布し、ボランティア人材バンクの活用をお願いしました。
- ・市公式 HP やコミセンだよりを活用し、活動の様子を広く市民へ発信しました。
- ・「ワールドカフェ」を開催し、教職員と地域コーディネーターが対話する場を設け、相互理解を深めました。
- ・不登校の児童生徒は増加傾向にあることから、不登校・別室登校児童生徒への支援を強化するため、地域コーディネーターを対象とした講話を実施しました。

◎今後の課題及び方向性

- ・別室登校の児童生徒への支援を強化するため、教育系の学部を持つ大学へ相談を行い、大学生ボランティア制度の整備を検討します。
- ・若い世代に周知できるようにInstagramを活用し、写真・動画投稿を通じた広報活動を行います。
- ・広報紙や市ホームページ等を積極的に活用し、新たな協力者の発掘に努めます。あわせて、各校の「人材確保の工夫」や「効果的な役割分担」の事例を共有し、全体での運用力向上を図ります。
- ・教職員と地域コーディネーターの連携不足による活動低迷を防ぐため、引き続きワールドカフェを開催します。併せて各校の好事例を共有し、活動の活性化を図ります。
- ・不登校・別室登校の児童生徒は増加傾向にあり、その要因も多様化・複雑化しているため、教育委員会内（教育政策課、学校教育課、教育サポートセンター、くま川教室、生涯学習課）での協議を通じて情報共有と連携を強化します。
- ・予算については、各校の要望調査と執行状況に応じて配分をしていますが、年度未までに予算を使いきれない学校もあり、例年、多くの不用額が発生していることから、今後は執行見込調査の回数を増やすなど、より適正な予算配分を推進します。

(3) 二十歳の集い（成人式）

〔目的〕

20歳という人生の節目を迎える若者たちを祝福、激励するとともに、改めて大人になった責任と義務を自覚し、郷土「八代」への愛着を深めるため開催する。

〔実施方法〕

実行委員会に二十歳の集いイベント等の企画と運営を委託。

〔対象者〕

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの人

1,054人（令和7年12月現在）

〔令和8年八代市二十歳の集い実績〕

開催日：令和8年1月11日（日）

会場：八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）

式典参加者：737人

イベント：抽選会

司会：上田 アニ

◎今年度の取組や改善報告等

- ・今年度の式典終了後のイベントは抽選会のみであったが、多くの参加者に参加いただきました。また、実行委員会と事前に十分な協議を行い、進行内容を精査するなどして、円滑な運営と時間短縮を実現することができました。
- ・式典参加者数は、降雪の影響もあり多くの参加者が会場に入場したが、席に座らず後方で立っている者も多数いたため、開始前のアナウンス強化・誘導體制の強化を再検討する必要があります。
- ・実行委員は毎年変わりますので、課題等を引継ぎよりよい式典となるように取り組んでいきます。

◎今後の課題と方向性

- ・式典会場に入場しない参加者に対しての工夫は、今後も検討していく必要があります。
- ・式典終了後に一部の参加者による敷地内での飲酒や割れた瓶の放置が見受けられ、施設管理者に負担をおかけする事案がありました。今後は事前周知や巡回体制の強化など、再発防止策の検討をする必要があります。
- ・実行委員会による式典後のイベントについては、当日の参加者の心に残るイベントとなるように、事務局でアドバイスや進捗調整を行います。
- ・全体対象者のうち外国人対象者数が1割を超えるとともに、多国籍化してきていることから、より多くの外国人対象者が理解しやすいよう、やさしい日本語や多言語を用いた案内・周知方法を行うなど、やつしろ国際協会などと連携しながら取り組んでいきます。

(4) 社会教育関係団体育成事業

第3期八代市教育振興基本計画
基本方針1 2…地域における教育力の向上
②社会教育団体の育成

〔目的〕

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

各団体への補助金については、八代市社会教育委員会議に諮り次年度の予算要求を行う。

〔令和7年度助成実施団体及び補助実績額（交付決定額）〕令和8年1月末現在

- ・八代市地域婦人会連絡協議会 1,068,000円
- ・八代市子ども会連合会 70,000円
- ・八代市PTA連絡協議会 513,000円

◎今年度の取組や改善報告等

- ・八代市地域婦人会連絡協議会については、計画された行事や研修会等を毎月開催され、意見交換や情報共有をされるなど精力的に取り組まれており、また、市が主催する各種イベント等にも積極的に参加協力されています。
- ・八代市子ども会連合会については、今年度より鏡校区の単位子ども会のみでの活動となり、今後は鏡校区内の休止している単位子ども会への活動再開への働きかけや、校区外の団体等に対して子ども会活動を理解していただけるように説明を行うなど、少しでも会員数が増えるように取り組まれています。
- ・八代市PTA連絡協議会については、計画された行事や研修会等に各単位PTAが参加し、交流を深めることや意見交換や情報交換をするなどし、活発な活動ができるように取り組まれています。

◎今後の課題と方向性

- ・社会教育団体の組織人員は、毎年、減少傾向にありますが、各団体の自主性を尊重するとともに、活発な活動ができるよう、引き続き助言・サポートを行っていきます。
- ・社会教育団体の補助金交付について、申請書等における事業内容と支出費目の関連性を明確化し、審査事務の効率化や対象外経費の混入を防ぐため、団体への記載方法の指導や根拠資料の提出を求めるようにしていきます。

(5) 青少年体験活動事業

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針13…生涯を通じた学習活動の推進

②時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供

〔目的〕

家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

〔令和7年度実績〕

① アウトドアスクール

対象者：市内在住の小学校4～6年生の児童

参加数：47人（児童34人、高校生ボランティア13人）

期 日：令和7年7月29日（火）～31日（木）

場 所：熊本県立あしきた青少年の家（葦北郡芦北町）

内 容：海水浴、ニュースポーツ・ナイトゲーム・キャンプファイヤーの体験活動、マイ箸づくり・流木ストラップの創作活動、中国語講座等

② 子ども陶芸教室

対象者：市内在住の小学校4～6年生の児童

参加数：20人

期 日：令和7年4月29日（火・祝）

場 所：水竹居の館（赤星公園）

内 容：陶芸体験（皿作り）

③ 親子体験～山里の自然を楽しもう！～

対象者：市内在住の小学生とその保護者

参加数：10組24人（大人11人、子供13人）

期 日：令和7年8月16日（土）

場 所：坂より上キャンプ場（東陽町河俣）

内 容：水産林務課職員による森林関係の講義、竹コップ作成、そうめん流し川遊び、軽食など

◎今年度の取組や改善報告等

- ・アウトドアスクールは、7月30日（水）8時25分頃カムチャッカ半島付近で大きな地震が発生し、日本の沿岸に津波警報と注意報が発表されたことにより、予定したペーロン船の体験は中止となり、また外気高温等を鑑みた上、屋内でのニュースポーツプログラムに変更しました。
- ・アウトドアスクールの活動プログラムのなかに、語学能力を持つ職員を活用し、やさしい中国語を企画・実施し、参加者にとって国際の感覚を涵養することができました。
- ・親子体験では、東陽町の坂より上キャンプ場における川遊びやそうめん流し等のプログラムにしたことで、参加者は新たな体験ができ、またアンケートでは「また次回参加したい」との声が多くありました。

◎今後の課題と方向性

- ・青少年体験事業については、家庭や学校では得られない貴重な学習機会を提供することが重要であり、野外活動を中心とした多様なプログラムを計画的に実施するとともに、開催地域の団体との連携を通じて、世代間交流の充実も図っていく必要があります。
- ・アウトドアスクールや親子体験の開催にあたっては、市の他イベントが集中する時期を避けた時期設定が必要です。また、近年の異常気象や熱中症対策等のリスク管理を強化することで、中止になるリスクの低減を図る必要があります。
- ・アウトドアスクールでは高校生ボランティアの募集など市内高校との連携や、熱中症予防を前提とした活動プログラムづくり、子ども陶芸教室や親子体験事業では、開催地域の方々や団体との交流などを含め、魅力的なプログラムになるよう今後も内容を工夫していきます。

（6）公民館等の社会教育施設

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針16…社会教育施設の整備

①公民館施設等の整備・充実

基本方針18…災害からの復興推進・教訓の継承

②豪雨災害による被災地への支援と取組

〔目的〕

公民館を始め図書館、博物館などの社会教育施設については、市民の生涯学習の拠点として、計画的な整備、改修などの環境整備を進める必要があります。また、廃校した学校施設を利用している社会教育センターについても、公民館、図書館とあわせて、適正な維持管理を図ります。

○八代市公民館（千丁町新牟田 1433）

公民館に対する市民のニーズは大きく多様化してきていることから、市民がいつでも学びたいときに学習ができる公民館として運用を図ります。

- ・ 設 置 平成8年4月
- ・ 敷地面積 4,409㎡（千丁健康温泉センターとの複合施設）
- ・ 延床面積 4,450.76㎡

〔令和7年度の主な実績〕

- ・ 令和7年豪雨災害被災により床上浸水したホワイエトイレの「手洗い水栓、コンセント、ドア、ブース壁」の修繕と、汚水等が堆積した「地下ピット」を消毒・清掃を行いました。

〔八代市公民館ホール利用状況の推移〕

（単位：件・人）

年度	ホール		舞台		ホワイエ		リハーサル室		楽屋等	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R5	46	4,828	17	1,090	19	1,732	180	2,115	32	673
R6	49	6,850	30	1,825	23	3,700	181	2,555	50	1,052
R7	48	7,775	23	990	13	2,260	187	2,538	51	1,357

※ホールは、改修工事により一時休館しました（令和5年7月～11月：5カ月）

※令和7年度は令和8年1月末現在

〔八代市公民館会議室等利用状況の推移〕

（単位：件・人）

年度	会議室（A・B）		研修室		生涯学習室		和室（A・B）	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
R5	164	5,911	157	2,513	48	493	83	1,179
R6	166	5,838	197	3,564	76	864	83	1,239
R7	175	7,601	122	4,042	78	2,093	47	1,188

※令和7年度は令和8年1月末現在

○八代市さかもと青少年センター（坂本町中谷い 1270）

学校統合により閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、青少年及び成人が団体宿泊等による共同生活体験、自然活動体験を通し、社会性豊かな感性を育み、規律、協同、友愛、互助の精神を養います。

- ・ 設 置 平成16年4月
- ・ 敷地面積 8,764㎡
- ・ 延床面積 2,066㎡

[利用状況の推移]

(単位：件・人)

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
429件	3,373人	445件	3,780人	380件	3,035人

※令和7年度は令和8年1月末現在

○八代市社会教育センター(5施設)

学校統合により閉校となった旧小学校施設を活用し、自然豊かな環境の中で、青少年の健全育成をはじめ社会教育に関する活動の推進を図ります。

[利用状況の推移]

(単位：件・人)

施設名	設置	敷地面積 床面積	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			件数	人数	件数	人数	件数	人数
深水社会教育センター (坂本町深水い1471)	H16.4	6,357㎡ 1,709㎡	91	542	26	238	76	668
鮎婦社会教育センター (坂本町鮎婦は867)	H16.4	5,390㎡ 2,436㎡	35	528	39	511	29	403
田上社会教育センター (坂本町田上2006)	H16.4	17,571㎡ 2,212㎡	68	683	90	1,432	69	883
久多良木社会教育センター (坂本町百済来664)	H18.4	7,930㎡ 2,175㎡	92	577	76	663	46	258
仁田尾社会教育センター (泉町仁田尾96)	H23.4	2,836㎡ 464㎡	67	612	71	561	62	485

※令和7年度は令和8年1月末現在

○八代市二見自然の森(二見本町3087)

恵まれた自然環境の中で安全で快適な憩いの場を提供することにより、市民の余暇の活用及び健康の増進を図ります。

- ・ 設 置 平成9年4月1日
- ・ 面 積 20,852㎡

[利用状況の推移]

(単位：件・人)

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
0件	0人	0件	0人	0件	0人

※令和7年度は令和8年1月末現在

※本施設は憩いの場として、随時ご利用をいただいております。上記表の数値は占有による利用数をカウントしたものです。

○八代市八竜山自然公園（坂本町中谷は335-2）

恵まれた自然環境と豊かな森林資源を保護しつつ、広域的な教育活動と森林レクリエーションの場を提供するとともに、青少年の健全育成を図ります。

・設置 平成9年4月1日

・面積 22,729㎡

[利用状況の推移]

(単位：件・人)

施設名	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
さかもと八竜天文台	－	1,199人	－	1,793人	－	1,348人
ロッジ（6人用×3棟）	55件	229人	69件	309人	50件	226人
コテージ（10人用）	23件	187人	32件	231人	15件	102人

※令和7年度は令和8年1月末現在

○八代市赤星公園（鏡町宝出76-1）

市民の教育、学術、文化の向上及び市民相互の交流を図ります。

・設置 平成15年4月1日

・面積 4,278㎡

[利用状況の推移]

(単位：件・人)

施設名	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
研修室	221件	1,441人	109件	672人	125件	685人
工房	77件	680人	57件	331人	54件	328人
厨房	30件	57人	12件	23人	17件	25人
屋外	5件	166人	0件	0人	3件	95人

※令和7年度は令和8年1月末現在

◎今年度の取組や改善報告等

- ・八代市公民館は、築後30年を経過し、施設全体の劣化や破損が進んでいることから、安全面の対策を行いながら、管理運営に取り組んでいます。また、令和7年8月豪雨によりホワイエトイレが床上浸水し、手洗い水栓等の電気系統設備や脱落したトイレブースの修繕、汚染された地下ピットの消毒清掃等を行いました。
- ・八代市社会教育センターは、“八代市公共施設等総合管理計画”ならびに“社会教育センターの見直し（案）”に沿って、方針の検討を開始しました。

◎今後の課題と方向性

- ・公民館等の社会教育施設は、設置後30年を経過する施設が多くなっており、老朽化した構造物や設備の修繕を必要とする箇所が多くなることから、計画的な整備や、改修などの環境整備を進めることが必要となっています。
- ・八代市社会教育センターは、“八代市公共施設等総合管理計画”に基づき、他施設との複合化や転用のほか、廃止などといった方向性について検討する必要があります。

(7) 図書館管理運営事業

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針14…人を育む図書館づくりの推進

- ①読書活動の推進
- ②図書館資料の収集、保存、提供
- ③調査・研究、生涯学習や教育・文化活動への支援

基本方針16…社会教育施設の整備

- ②図書館施設の整備・充実

〔目的〕

生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

〔図書館指定管理者〕

○委託者 TRCグループ共同企業体

(株式会社図書館流通センター、九州綜合サービス株式会社)

○契約内容 図書館の運営に関する業務、図書館の利用に関する業務、集会室等の利用の許可に関する業務、施設等の維持及び修繕に関する業務、教育委員会が図書館の管理上必要と認める業務

○契約期間 令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）

○利用実績（個人+団体）

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸出冊数	406,645冊	397,579冊	307,572冊
貸出利用者数	86,878人	85,741人	66,395人
来館者数	264,955人	281,842人	206,852人

※各年度 3月末現在（令和7年度は、令和8年1月末現在）

※来館者カウント方法を令和5年度からICゲートによるカウントに変更

○利用実績（電子図書）

区 分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸出冊数	23,997冊	13,487冊	6,402冊
登録者数	2,955人	2,758人	2,243人
コンテンツ数	12,869冊	12,015冊	12,333冊

※各年度 3月末現在（令和7年度は、令和8年1月末現在）

○主な図書館行事（令和7年度実績）

- ・「図書館を使った調べる学習コンクール」を開催。
全国コンクールへ推薦し、佳作を2作品受賞。
- ・図書館まつりの開催
春のこども読書週間、秋の読書週間で、図書館講座、おはなし会、ブックリサイクル等のイベントのほか、秋は40周年記念行事平田昌広えほんライブを実施。2月にとしょかんマルシェを開催。
- ・読書支援サービス
点字図書、音声図書の郵送サービス、電子図書館でのデイジー図書の貸出。図書館講座「手話入門～あなたの知らない手話の世界～」やバリア

フリー映画の上映会、読書支援サービスに関する展示。

- ・パネル展
「昭和100年の軌跡～第二次世界大戦の記録と共に～」他多数
- ・図書館講座
「プログラミング講座」「おりがみで作るおもちゃいろいろ」
「図書館の便利な使い方講座特別編「八代市立図書館バックヤードツアー」」他多数。
- ・坂田文庫20万円分購入
- ・としょかんマルシェの開催
令和8年2月15日（土）9時30分～15時

○電子書籍及びICタグの導入

- ・電子書籍 556コンテンツの追加（うち児童書409冊）
2,372千円（令和8年1月末現在）

- ・蔵書点検（不明本の推移）※本館

年度	一般	児童	合計
令和5年度	9	2	11
令和6年度	15	0	15
令和7年度	17	8	25

※各年度 3月末現在（令和7年度は、令和8年1月末現在）

○図書館の修繕関係

〔令和7年度実施分〕

- ・図書館本館南側スロープ滑り止め張替修繕 令和7年11月20日
- ・図書館本館男子トイレセンサー取替 令和7年7月11日
- ・図書館本館空調用逃し弁取付 令和7年12月15日
- ・中央監視装置用監視PC及び周辺機器交換 令和8年3月予定
- ・図書館本館コンセント付学習用机・椅子購入 令和8年2月16日

○図書館せんちょう分館の災害復旧工事関係

- ・災害復旧工事（建築・電気設備関係）：カーペット張替、畳新調、
書架修繕、電気設備工事
- ・災害復旧工事（空調設備改修関係）
- ・閉架書庫移動棚設置（電動から手動式へ変更）

◎今年度の取組や改善報告等

- ・令和7年8月豪雨によりせんちょう分館が被災し、長く休館することになりました（8月11日～令和8年3月20日）。カーペット張替、畳新調、書架修繕、電気設備工事、空調設備改修工事、閉架書庫移動棚設置（電動から手動式へ変更）など災害復旧工事を行い、今後の浸水を考え、空調室外機を30～50cm嵩上げしました。
- ・図書館システムの入替を行いました。図書館ホームページもリニューアルし、こどもの部屋（こどものページ）もできます。また、現行の貸出カードと併用してマイナンバーカードの貸出しが可能となりました。
- ・電子図書の利用促進のため、「図書館の便利な使い方」講座を定期的で開催するなどしました。
- ・施設・設備の老朽化については、本館の南側スロープの滑り止め張替修繕を一部完了しました。（2年目）。また、男子トイレのセンサー取替工事、空調用逃し弁取付、中央監視装置用監視PC及び周辺器交換等を行いました。
- ・令和7年度は学習コーナーの増設に森林環境譲与税を活用し、コンセント付学習机・椅子4セットを購入しました。

◎今後の課題及び方向性

- ・電子図書については、令和4年度に児童生徒1人1台のタブレット端末での電子図書の貸出が可能となったのをピークに、年々減少傾向にあります。近年はSNSなど様々なメディアソースが普及したため、図書以外の様々な選択肢が増えたことで減少しているのではないかと考えられます。継続的に電子図書を利用してもらえるよう、今後も児童書を中心に購入し、充実を図るとともに、引き続き小学校向けにPRを続けていくことが重要です。また、電子図書は、回数制限や期限切れなどの問題もあり、定期的・安定的な購入が必要です。
- ・図書館本館は築40年であることから老朽化が進んでおり、安心安全で快適に利用できる環境を確保する必要があるため、施設・設備の修繕・改修等を計画的に進める必要があります。
- ・市民の生涯学習及び文化活動に寄与できる図書館として図書資料を充実し、質の高い図書館サービスと広報活動に努めます。
- ・移動図書館の運行や各種行事、講座、図書展示等を通じて読書活動の普及を図り、読み聞かせボランティアなど関係団体等の協力を得ながら、すべての市民の読書活動の推進を図ります。

(8) 生涯学習推進事業

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針13…生涯を通じた学習活動の推進

- ①生涯学習推進体制の充実
- ②時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供
- ③生涯学習情報の提供

基本方針18…災害からの復興推進・教訓の継承

- ②豪雨災害による被災地への支援と取組

市民一人一人が生涯にわたって生きがいをもち、心豊かな生活を送れるよう、時代の変化や市民のニーズに沿った多様な学習機会や学習情報を提供する。

① やつしろ市民大学

〔目的〕

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、幅広い世代が参加しやすい学びの機会を提供することにより、市民の生涯学習意欲を向上させ、心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

★令和7年度実施状況 21講座(122回) 参加者総数：1,779人 ※令和8年1月末現在

講座名	開催期日	回数	参加者数	延べ参加者数	開催場所
スマホ講座	6月13日～ 8月22日	6	14	72	八代市公民館
平日の健康づくり講座～いろいろな運動を楽しもう～	7月8日～ 9月23日	9	8	61	八代市公民館
Excel 入門講座	6月14日～ 7月19日	6	8	36	八代市公民館
はじめてのヨガ講座	6月4日～ 7月30日	8	15	84	八代市公民館
はじめての台湾講座 ～台湾についてもっと知ろう！～	6月14日～ 7月5日	4	17	66	八代市公民館
F P 3級講座	6月12日～ 8月7日	8	20	135	八代市公民館
初級英会話	6月10日～ 8月19日	10	26	192	八代市公民館
自然に親しむネイチャーあそび講座	6月14日～ 10月4日	4	17	46	八代市公民館、八の字堰、さかもと八竜天文台、大島海の家仰雲亭

フラワーアレンジメント講座	6月4日～ 10月1日	5	11	49	八代市公民館
公開講座 世界遺産～楽しく学ぼう、世界遺産	6月29日	1	30	30	八代市公民館
公開講座 小泉八雲とくまもと	10月24日	1	29	29	八代市公民館
Web デザイン講座（キャンバ）	11月6日～ 12月9日	6	28	157	八代市公民館
実践英語講座	12月2日～ 1月27日	8	21	125	八代市公民館
フィットネスダンス講座	11月8日～ 2月28日	8	15	77	八代市公民館
ピラティス講座	12月5日～ 2月13日	8	20	131	八代市公民館
プロから教わる資産運用と株式基礎講座	10月28日 ～12月2日	6	35	189	八代市公民館
簿記入門講座	11月12日 ～12月17日	6	10	55	八代市公民館
韓国語入門講座	11月7日～ 12月19日	6	20	98	八代市公民館
ハワイアンフラ講座	11月5日～ 12月24日	8	—	—	八代市公民館※未開催
書くって楽しい！ゆっくり学ぶ、筆ペン入門講座	10月30日 ～12月11日	6	15	85	八代市公民館
カラーコーディネート講座	11月1日～ 12月6日	6	11	62	八代市公民館

② おでかけ公民館講座・公民館講座

〔目的〕

地域の学習機会の充実や学習活動の活性化、相互の交流を図り、市民が心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

★令和7年度実施状況 16講座（32回） 延べ参加者数：551人 ※令和8年1月末現在

講座名	開催期日	回数	参加者数	延べ参加者数	開催場所
小学生から始めるプログラミング講座～こどもの未来を後押しします～	7月23日～ 8月20日	10	24	197	八代市公民館
生成AI入門講座（A）、（B）、（C）※3講座	7月24日、 7月26日、 8月5日	3	68	68	八代市公民館
英語ガイド研修講座	9月20日、 9月27日、 10月4日	3	23	61	八代市公民館

宇宙の謎を解こう！	9月2日、 9月9日、 9月16日	3	11	31	八代市公民館
親子食育講座～ふわふわシフォン ケーキでデコレーションパフェを 作ろう～	8月10日	2	64	64	八代市公民館
新しいカタチのインターネット検 索講座	9月24日	1	8	8	八代市公民館
クリスマスに飾ろう！ヒンメリワ ークショップ	12月14日	1	7	7	八代市公民館
国際交流の楽しみ方	1月29日	1	14	14	八代市公民館
人々とのツナガリの大切さ	1月31日	1	23	23	八代市公民館
台湾料理講座	7月13日	1	16	16	太田郷コミュニティセ ンター
親子3B体操講座	10月25日	1	8	8	麦島コミュニティセン ター
ポッチャをやってみよう！	11月3日	1	12	12	八代トヨオカ地建アリ ーナ
はじめてのスマホ講座（二見）	1月15日、 1月22日	2	2	4	二見コミュニティセン ター
和菓子作り講座	1月31日	2	19	38	高田コミュニティセン ター

③ 公民館講座WEB版・かわら版

〔目 的〕

新しい生活様式に対応するため、学習講座をオンライン配信する等、市民が「いつでも、どこでも」学ぶことができ、心豊かで生きがいのある生活を送れるよう支援する。

〔令和7年度実績〕

1月：かわら版26号 1ページ講座（中国語・Gmail・台湾料理）

3月：かわら版27号 発行予定

3月：Web版19号 生涯学習推進事業の紹介（動画、製作済み）

◎今年度の取組や改善報告等

- ・ やつしろ市民大学においては、21 講座（内リカレント・デジタル 8 講座）を開催しました。
- ・ おでかけ公民館講座・公民館講座は、現時点で 16 講座（内リカレント・デジタル 7 講座）を開催しました。※2 月以降も 13 講座（内リカレント・デジタル 4 講座）を予定
- ・ 継続して推進している、デジタルリカレント関連講座を年度末までに 19 講座開催予定です。
- ・ 各校区で行うスマホ講座が今年度をもって完了しました（令和 3 年～）
- ・ 講師謝礼単価の見直しを行いました（デジタル 4,000 円/1h、その他 3,000 円/1h）
- ・ 受講料歳入については、1,400 千円を見込んでいます。
- ・ 新たな講師による講座を開催することで、まなびの選択肢を広げ、多様な学びの機会の強化につなげました。

◎今後の課題と方向性

- ・ 主催する講座については、年度当初は講座数が少なくなる傾向にあるため、年間を通じて開催頻度の平準化を図り、バランスの良いスケジュールとする必要があります。
- ・ やつしろ市民大学の締切日から実際の講座開催日まで期間を要する場合もあり、申込者のモチベーションの維持にできる取り組みを検討する必要があります。
- ・ スマホ講座については、申込者数推移から一定程度の浸透が図れましたが、今後もデジタル格差解消のため、初心者や高齢者向けの講座開催の必要性があります。
- ・ 今後も、多様化・高度化する学習ニーズに応え、幅広い世代が参加しやすい学びの機会を提供することを目標に講座を企画・計画していきます。

(9) 家庭教育学級

第 3 期八代市教育振興基本計画
基本方針 1 1…家庭における教育力の向上
①家庭教育の充実

〔目 的〕

小・中学校や幼稚園、保育園ごとに家庭教育学級を開設し、学習支援を行うことで家庭の教育力向上を図る。

〔令和7年度研修会等開催実績〕

○令和7年度家庭教育学級運営委員研修会

日時：令和7年5月13日（火）10時～12時

場所：八代市公民館 会議室 AB

参加者数：39人

内容：・運営に関する説明

・親の学びプログラム『みんながつながろうみんなでつなげよう
～「親の学び」プログラム in 家庭教育学級～』

講師：嶋村 立馬氏・山口 照美氏（八代市社会教育指導員）

・講話「これって反抗期？～こどもも成長、わたしも成長？～」

講師：木本 芳照 氏（八代市社会教育指導員）

○大村詠一さん講演会（家庭教育学級講演会）

日時：令和7年11月6日（木）10時～11時30分

場所：八代市公民館 会議室 AB

参加者数：31人

内容：・講演「夢は小さな一歩から」

講師：大村 詠一 氏

○かてきよ一通信（家庭教育学級通信） 6月、12月、3月発行

〔八代市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、支援学校数〕

・保育園 50園 ・幼稚園 8園 ・認定こども園 5園

・小学校 23校 ・中学校 15校 ・支援学校 1校

合計：102学級

〔開設状況〕

家庭教育学級：62学級

・保育園 26園、・幼稚園 6園 ・認定こども園 3園

・小学校 21校、・中学校 5校、・支援学校 1校

〔令和7年度新規開設：無〕

〔未開設数〕

家庭教育学級： 40学級

- ・ 保育園 24園、 ・ 幼稚園 2園 ・ 認定こども園 2園
- ・ 小学校 2校、 ・ 中学校 10校、 ・ 支援学校 0校

◎今年度の取組や改善報告等

- ・ 「かてきょー通信」については、つい読みたくなるような広報誌となるように心がけて作成し、今年度は3回発行し様々な情報を提供しました。
- ・ 11月に開催した家庭教育学級講演会については、周知方法を工夫したことで、参加者数が昨年度より増加し、講師への質疑も多く一定の成果も見られました。

◎今後の課題及び方向性

- ・ 家庭教育学級については、各校・園の事例紹介や、活動サポートとして生涯学習指導者名簿記載の外部講師派遣や社会教育指導員派遣事業の紹介など、各学級の活動充実と持続可能な運営体制づくりにつながるよう進めてまいります。
- ・ 家庭教育学級の未開設校・園を訪問し、家庭教育学級を開設するメリットなど説明し、開設を促していく必要があります。
- ・ 家庭教育学級講演会については、申し込みする方の都合等も考慮にいれ、土・日の開催も検討する必要があります。

(10) 親の学びプログラム

第3期八代市教育振興基本計画
基本方針11…家庭における教育力の向上
①家庭教育の充実

〔趣 旨〕

市民の社会教育活動その他の教育活動を支援するため、市内の団体等が開催する研修会、勉強会等に、八代市社会教育指導員を講師、指導者、進行役として派遣する。

〔令和7年度実施実績〕

番号	団体名	期日
	内 容	
1	ゆかり乳児保育園	令和7年6月21日(土)
	親の学び「こんなとき どうしたらいいの？」	
2	松高幼稚園家庭教育学級	令和7年6月3日(火)
	親の学び「子育ては親育て」	

3	代陽小学校家庭教育学級	令和7年7月11日(金)
	親の学び「～スマホ・SNSとの向き合い方について～」	
4	日奈久小学校家庭教育学級	令和7年7月11日(金)
	親の学び「わが家で大事にしたいこと」	
5	代陽幼稚園	令和7年7月11日(金)
	親の学び「わが家の情報モラル～スマホ・ネットの向き合い方」	
6	松高幼稚園家庭教育学級	令和7年7月11日(金)
	親の学び「子育ては親育て～子どもと一緒にどう歩む～」	
7	鏡小学校家庭教育学級	令和7年10月9日(木)
	親の学び「つながろう 一人じゃないよ」	
8	八代小学校家庭教育学級	令和7年9月25日(木)
	親の学び「児童期の子供との向きあい方」	
9	文政小学校家庭教育学級	令和7年10月1日(水)
	親の学び「児童期の子供との向きあい方」	
10	植柳小学校家庭教育学級	令和7年10月8日(水)
	親の学び「児童期の子供との向きあい方」	
11	泉小学校家庭教育学級	令和7年10月9日(木)
	親の学び「つながろう 一人じゃないよ」	
12	東陽小学校家庭教育学級	令和7年10月16日(木)
	親の学び「子育てはみな初心者～子どもも成長、親も成長!～」	
13	八代白百合学園家庭教育学級	令和7年12月19日(金)
	親の学び「ほめ方、叱り方のひと工夫」	
14	高田あけぼの保育園家庭教育学級	令和8年1月22日(木)
	親の学び「子育ては 親育て」	
15	郡築しおかぜ保育園家庭教育学級	令和8年2月6日(金)
	親の学び「子育ては、みな初心者～スマホ・ゲームの向き合い方～」	

◎今年度の取組や改善報告等

- ・家庭教育学級運営委員研修会で「親の学び」プログラムを体験していただくことで、どういった活動なのかを知ってもらい、園や学校でも活用いただきました。

◎今後の課題と方向性

- ・親の学びプログラムについては、昨年度よりも3校ほど活用校・園が増えましたが、毎年同じ園や学校から依頼があるため、もっと多くの園や学校に活用していただく必要があります。
- ・家庭教育学級運営委員研修会で社会教育指導員派遣事業の周知を行い、活用数を増やせるよう取り組んでいく必要があります。

(11) 第16回まなびフェスタ やつしろ

第3期八代市教育振興基本計画

基本方針1 2…地域における教育力の向上

③まなびフェスタやつしろの充実

〔趣 旨〕

様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果発表の機会を設けることで、市民に生涯学習の普及啓発を図り、学習意欲の向上と学習活動への参加を促進する。

〔令和7年度実績〕

- ・開催日 令和7年12月13日(土)
- ・会場 八代市公民館
- ・来場者数 1,304名
- ・内 容

I. ホール部門 総合司会：熊本県立八代高等学校

- (1)オープニング 八代白百合学園高等学校 ダンス部
- (2)生涯学習自主講座クラブ活動発表 ※5クラブ出演
- (3)講演会 講師：須田 慎一郎 氏

演題：～明日からできる！経済センスの磨き方～

いま起こっていること、これから起こること

II. 体験活動部門

- (1)市内の高校による体験活動
八代工業高等学校・八代農業高等学校泉分校・
熊本高等専門学校八代キャンパス
- (2)八竜天文台イベント（プラネタリウム体験）
- (3)図書館イベント（おはなし会スペシャル、紙工作）

III. 展示部門

- (1)生涯学習課事業活動紹介（キッズチャレンジ・公民館講座等）
- (2)生涯学習自主講座クラブ作品展示 ※8クラブ
- (3)家庭教育学級活動報告
- (4)放課後子ども教室活動報告
- (5)人権啓発作品展示
- (6)地域学校協働活動紹介

(7)八代市社会教育団体活動報告及び作品展示

八代地域婦人会連絡協議会・八代市子ども会連合会

八代市PTA連絡協議会

IV. その他

まなびマルシェ（食バザー） ※8団体

◎今年度の取組や改善報告等

- ・令和7年8月豪雨の影響で、これまで使用していた図書館せんちょう分館や千丁コミセンが使用できず、八代市公民館のみでの開催となりました。
- ・より効果的な広報を目的に、市報やポスター設置にあわせたFM広報を行い相乗効果が生まれるよう取り組みました。
- ・講演会については、市民ニーズが高いジャンルとメディア露出が高い講師の組み合わせで例年以上の集客を得ることにつながりました。

◎今後の課題と方向性

- ・来場者からのアンケートでは、市内の高校による体験活動や自主講座クラブ等の展示・まなびマルシェの時間とホールイベントの時間帯が重なっているため「時間があわない」などの意見が多くありました。ホールイベント目的で来場された方にも、体験活動等のイベントを楽しんでいただくための工夫をするなど、課題が明らかとなりました。
- ・事業の方向性は、これまでと変わらず、市民が生涯学習を身近に感じることにつながる機会としていきます。

【その他社会教育関連報告事項】

① 令和7年度 第55回九州ブロック社会教育研究大会 福岡大会

- ・参加者 高倉委員、右谷係長
- ・期 日 令和7年11月13日（木）～14日（金）
- ・会 場 福岡市 アクロス福岡
- ・大会テーマ 「社会教育の可能性～新しい時代の風 地域コミュニティを支える社会教育の実践～」

② 令和7年度 熊本県社会教育研究大会・第70回熊本県公民館研究大会

- ・参加者 （社会教育委員）生田委員長、三栗野委員、坂本委員
（公民館運営審議会委員）松岡委員長、奥村委員
（事務局）丸吉主幹、中川生涯学習推進係長、右谷社会教育係長
田島参事、山鹿主任、酒井主任、嶋村社会教育指導員
- ・期 日 令和7年9月26日（金）
- ・会 場 水俣市文化会館
- ・テ ー マ 地域、学校、家庭、世代間の連携による
「つながる社会」を目指して
- ・内 容 講演「子どもたちの笑顔のために」
～児童養護施設の現場から
講師：堀 浄信 氏
（社会福祉法人 光明童園 理事長）
- ・アトラクション 歓迎の和太鼓演奏 つなぎ舞鶴太鼓
- ・事例研究 事例1 「子どもたちがつながる、地域とつながる『放課後の
小さな社会づくり』」
～放課後子ども教室の活動を通して～
報告：下田 玲香 氏
（芦北町放課後子ども教室コーディネーター）

事例2 「アグリビジネスチャレンジ」
～小学生が全国につなぐサラダ玉ねぎ～
報告：上原 ゆい 氏
（津奈木町地域学校協働活動推進員）

2. 令和8年度 事業計画について

第4期八代市教育振興基本計画

基本的な方向性6

主な施策…地域学校協働活動推進事業の充実 (1)

家庭教育学級の充実 (2) (3)

社会教育団体の育成 (4)

(1) 地域学校協働活動事業

地域学校協働本部を中心に、市内全ての小・中・特別支援学校(39校)において活動を実施する。地域コーディネーターを委嘱するとともに、統括コーディネーター(市社会教育指導員)による学校訪問等を行うことにより引き続き支援を行う。

併せて、「地域未来塾」や「放課後子ども教室」についても地域の実情に合わせて継続して実施する。

令和2年度以降、地域学校協働本部の重点事業として位置付けている不登校・別室登校児童生徒に対する支援については、令和8年度も継続して強化事業として位置づけ、対応を強化していく。

(2) 家庭教育学級

○家庭教育学級研修会 計2回開催

・第1回研修会 5月14日(木)開催予定

・第2回研修会 11月開催予定

○かてきよ一通信(家庭教育通信) 計3号発行予定

第1号 6月予定、第2号 10月予定、第3号 3月予定

(3) 親の学びプログラム

市民の社会教育活動その他の教育活動を支援するため、市内の団体等が開催する研修会、勉強会等に、八代市社会教育指導員を講師、指導者、進行役として派遣する。

・家庭教育学級運営委員研修会での周知(チラシ配布)

・園や学校での「親の学び」プログラムトレーナー

(4) 社会教育関係団体育成事業

社会教育団体の健全育成、活性化を促進し、生涯学習社会の構築を推進するため、社会教育関係団体の活動に対して助成等を行う。

〔助成実施予定団体〕

- ・八代市地域婦人会連絡協議会
- ・八代市子ども会連合会
- ・八代市PTA連絡協議会

第4期八代市教育振興基本計画

基本的な方向性 7

主な施策…時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供 (5) (6)

青少年を対象とした講座の企画と実施 (5) (7)

まなびフェスタやつしろの充実 (8)

(5) 生涯学習推進事業

生涯学習社会の実現のため、幅広い世代が参加しやすい講座を開設するとともに、急速に変化する社会に対応したスキルの習得を促すリカレント教育や誰もがデジタル社会に参画できるような学習の機会を提供する。

① やつしろ市民大学

○前期 7講座開催 1公開講座

AIでHP作成チャレンジ講座、Excel講座～入門から応用まで～、お芋でお味噌づくり講座、初級英会話講座、ズンバゴールド、FP3級講座、骨盤矯正ヨガ講座

ウエルネスウォーキング(公開講座)

○後期 7講座開催 1公開講座 内容未定

② おでかけ公民館講座・公民館講座 15講座

はじめての韓国文化講座、在宅ワークスタート講座、残糸を使ったエコ編み物講座、小学生向けプログラミング教室等の講座を予定

③ 公民館講座WEB版・かわら版

かわら版2回発行、WEB版配信予定

(6) 人権教育事業

- 各種大会・研修会への参加を通じ、重要な人権課題の把握に努める
- 社会教育指導員や専門講師等を活用し、様々な学習機会の提供を行う
- 校区との協働による人権啓発の取組及び、解放学習等への委託や支援を継続
- 人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所の維持管理を行う

① 人権のまちづくり事業

3校区を推進校区に指定し、各コミュニティセンターへ啓発ポスターの掲示や、コミセンだよりへの記事掲載及び地域イベントでの啓発など、地域と一体となった取り組みを行い、地域住民への人権意識の高揚を図る。

② 様々な学習機会の提供

家庭教育学級や公民館講座などを積極的に活用するとともに、研修会や社会教育指導員によるミニ講座を開催し学習機会の確保を行う。

③ 連携事業

- 八代人権同和教育推進協議会【八同推協】との連携
 - ・第50回八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会 7月25日(土)
 - ・八代人権同和教育推進協議会「総括学習会」 令和9年2月2日(火)
- 部落解放同盟八代支部との連携
 - ・2026八代地区人権同和教育夏期現地研修会 7月下旬～8月上旬
- 八代地域人権教育のための推進会議【推進会議】との連携
 - ・2026人権子ども集会・フェスティバル in やつしろ 12月5日(土)

(7) 青少年体験活動事業

豊かな自然の中での野外活動や集団生活を通じて自主性や協調性を育み、地域との交流を深めながら豊かな感性と健全な心身の育成を図るとともに、家庭や学校では、体験できない野外活動等を取り入れた青少年体験活動事業を実施し、次代を担う青少年の健全育成を図る。

〔実施予定事業〕キッズチャレンジ2026

- ・陶芸教室(令和8年4月29日 赤星公園)
- ・アウトドアスクール(令和8年7月22日～24日 2泊3日
県立菊池少年自然の家)
- ・親子体験活動(9月上旬 坂より上キャンプ場)
- ・宿泊体験活動(さかもと青少年センター・八竜天文台予定) 計4事業

(8) 第17回まなびフェスタ やつしろ

世代間交流や地域間交流を活性化し、より良い人づくり、まちづくりに繋げることを目的して、八代市における様々な学びの場や活動を紹介し、学習成果の発表の機会を設ける。

- ・開催日 令和8年12月12日(土)
- ・会場 八代市公民館及び周辺施設
- ・参加団体 社会教育団体、生涯学習自主講座クラブ、市内各高校など
- ・内容
 - I. ホール部門
(講演会：未定、自主講座クラブ活動発表など)
 - II. 体験活動部門(市内高校生や八竜天文台による体験コーナーなど)
 - III. 展示部門(講座の活動紹介、自主講座クラブ成果発表など)
 - IV. その他(食バザー、図書館イベント)

第4期八代市教育振興基本計画

基本的な方向性8

主な施策…社会教育施設の整備・充実 (9)

図書活動の推進、図書館サービスの充実 (10)

(9) 公民館等の社会教育施設

○八代市社会教育センター(検討)方針に沿って関係部署と協議や団体へのヒアリングを行う。

(10) 図書館管理運営事業

図書館運営方針の着実な履行と指定管理者による適切な管理運営が行なわれるよう指導・助言、進捗調整を行い、市民に親しまれる図書館運営の実現を目指す。

- ・八代市子ども読書活動推進計画(第三次)による取組(児童生徒向けの電子図書購入、学校等への出前講座や団体貸出配本の推進)
- ・マイナンバーカードと連携した図書館システムを運用し、さらなる市民の利便性を図る。
- ・図書館本館の読書環境の整備を図る。

(11) 二十歳の集い

令和4年4月1日に成年年齢が引き下げられたが、八代市ではこれまで通り20歳を対象にし、名称を二十歳の集いに変更し実施している。

年度中に20歳となる実行委員で組織された実行委員会にイベント等の企画運営を委託。

- ・対象者 平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの人
985人（令和8年1月末現在）
- ・開催日 令和9年1月10日（日）午後2時開式
- ・会場 八代トヨオカ地建アリーナ（八代市総合体育館）

【その他社会教育関連報告事項】

① 令和8年度 第56回九州ブロック社会教育研究大会 熊本大会

（令和8年度熊本県社会教育研究大会・第71回熊本県公民館研究大会兼ねる）

- ・期 日 令和8年11月5日（木）～6日（金）
- ・会 場 市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市民会館）大ホール
- ・大会テーマ 熊本地震・豪雨からの復興、その先にある未来を見すえて
～社会教育の風が育む地域のチカラ～
～新しい時代の風 地域コミュニティを支える社会教育の実践～

**令和7年度
八代市地域学校協働活動
事業報告**

八代市地域学校協働本部

1 様々な学校協力活動

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの育成を支えていく「地域学校協働活動」を推進するために、学校と地域とをつなぐ「地域コーディネーター」を市内の全39の小・中・特別支援学校に配置（35名）し、様々な学校協力活動を実施した。

〔取組の内容〕

授業補助（家庭科・書写等）、登下校見守り、交通安全教室、クラブ活動補助、校外活動補助、キャリアセミナーなど



宮地小「親子ふれあいお楽しみ会」



代陽小「交通安全教室」



文政小「書道教室」



有佐小「花植え活動」



郡築小「調理実習 支援」



植柳小「栽柳園での蚕の観察会」

2 地域未来塾

様々な家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない中学生に対して地域住民の協力による学習支援を行った。

[令和7年度実施校] (令和7年12月分までの実績)

実施校 5校 延べ参加生徒 1,110人 延べ実施回数 62回

○第三中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中 2～2.5時間程度

科目：夏休みの課題、数学

実績：実施回数3回、延べ93人

○第四中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休みと冬休み期間中 1.5時間程度

科目：夏休みの課題

実績：実施回数3回、延べ53人

○第六中学校

参加生徒：希望する生徒（3年生）※3学期は2年生の実施予定

実施時間：通年（夏季中体連終了後から開始） 2時間程度

科目：数学

実績：実施回数24回、延べ469人

○日奈久中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：夏休み期間中、11月～月1回2時間程度

科目：夏休み・冬休みの課題、英語、入試対策

実績：実施回数5回、延べ145人

○二見中学校

参加生徒：希望する生徒（1～3年生）

実施時間：通年（毎週水曜日または金曜日）2時間半程度

科目：英語、数学

実績：実施回数27回、延べ350人



地域未来塾の様子

3 放課後子ども教室

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施した。

[令和7年度実施校] (令和7年12月分までの実績)

○昭和小学校

参加児童数：23人（1年生10人・2年生3人・3年生10人）

実施時間：毎週月曜日14時30分～15時30分

内容：宿題サポート、読み聞かせ、工作教室、和太鼓体験、空手体験、缶バッチ作りなど

令和7年度実績：21日 参加者延べ 245人

※3年生は月に1度（和太鼓）のみ

○泉小学校

参加児童数：9人（1年生3人・2年生2人・3年生4人）

実施時間：毎週火曜日及び金曜日の15時00分～16時00分

内容：宿題サポート、読み聞かせ、塗り絵、トランプ遊び、工作教室、体育館で遊ぼう、ニュースポーツ、バルーンアート

令和7年度実績：41日、参加者延べ 270人



空手体験



ニュースポーツ

4 広報活動

- 地域学校協働本部の取組を紹介する広報誌「協働本部だより（つなぐ）」を年4回発行し、すべての地域コーディネーターや教職員へ配信した。保護者を対象としては、「安心・安全メール」を活用し、市民の皆様向けものとしてHPに掲載し、周知を行った。
- コミセンだより（10月・3月※予定）と市HPに、各学校の活動の様子を掲載した。



コミセンだより
(代陽：11月号)



市HP

5 人材確保

- ・「安心・安全メール」や、市HP等で地域住民のボランティア人材の募集に関する記事を掲載した。
- ・ボランティア人材バンクリストの登録者には地域学校協働活動の現状と登録の継続を呼びかけた。また、人材バンクガイドブックを作成し、全学校と地域コーディネーターの配布し、また学校訪問等の際に学校への活用への呼びかけを行った。

令和7年度登録者・団体数：25件（令和7年度新規追加：2件）



No.1

氏名	橋本 大介
具体的な支援内容	中学校の数学や英語の授業・受験対策
活動可能な校区	どこでも可能・応相談
活動可能な曜日	いつでも
活動可能な時間帯	いつでも
活動経歴・資格等	二見中学校 学習塾経営 数学と英語の授業（週1～2回）
PR・メッセージ	市内までの距離があり、通塾が難しい子たちへの受験対策のため。教育格差への対応策。

5

ボランティア人材バンクガイドブック

6 連絡調整会議

地域コーディネーター間の情報共有や協働活動における課題解決に向け、連絡調整会議を年5回実施した。

○第1回

実施日：5月20日（火）参加者数：24名（地域C0）

場 所：八代市公民館

内 容：地域コーディネーター同士の交流及び情報交換会

○第2回

実施日：6月24日（火）参加者数：18名（地域C0）・32名（教職員）

場 所：八代総合庁舎

内 容：八代地区の地域コーディネーター及び教職員による意見交流会

○第3回

実施日：8月6日（火）参加者数：19名（地域C0）・28名（教職員）

場 所：八代市公民館

内 容：地域コーディネーター・教職員・退職校長会によるワールド
カフェ
テーマ「子どもが輝く学校・地域とは？」

○第4回

実施日：11月28日（金）参加者数：20名（地域C0）28名（教職員）

場 所：八代総合庁舎

内 容：八代地区の地域コーディネーター及び教職員、教育委員会職員
による実践発表会及び意見交流会

○第5回

実施日：2月17日（火）

場 所：八代市公民館

内 容：地域コーディネーターを対象とした本市の不登校児童生徒に
支援に関する講話



ワールドカフェ（第3回連絡調整会議）の様子

7 学校訪問

- ・年度初め新任管理職及び管外からの転入管理職を訪問し本市の取り組み等の説明を行った。
- ・夏季休業中、全学校（泉八小除く）への学校訪問を行い、課題等をヒアリングを行い、学校より課題点や悩みや疑問点がある際は対応等を行った。→課題として、人材不足や財源不足が多く挙げられた。
- ・実際の活動を適宜見学することにより各学校の実態を把握し、助言を行った。

8 不登校・別室登校対策（令和7年度重点事業）

本市の重要な教育課題の一つである不登校・別室登校対策について、学校と保護者だけでなく、関係機関、地域住民等の連携・協働体制を構築し、社会総掛かりで対応し、誰一人取り残すことのない教育環境の構築を目指す。

（1）主任児童委員・退職教職員等地域人材との連携

- 内 容：地域学校協働活動事業（報償費）を活用、またはボランティア人材を活用し、別室登校児童・生徒への学習支援や話し相手となる支援を実施（実施校12校 ※昨年度より2校増）
- 実施校：太田郷小学校、植柳小学校、**麦島小学校（R7より）**、東陽小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、**第四中学校（R7より）**、第六中学校、千丁中学校、鏡中学校、東陽中学校

（2）地域における放課後の居場所づくり（Smiling フレンド）

- 内 容：学校外の施設を利用し、八代高校の生徒たちによる、児童への学習支援と、クイズやボードゲームなどの遊びや夏祭りやクリスマスパーティー通した交流を実施（地域コーディネーター及び校区住民自治の青少年育成部会や学校と連携した取組）
- 実施校：代陽小学校 ○実施日数：18回（R8. 1. 31現在）
- 参加人数：小学生5人程度、高校生（インターアクトクラブ）10人程



Smiling フレンドの様子

(3) 地域コーディネーターへの情報共有

- ・第5回連絡調整会議にて、八代市教育サポートセンターによる不登校児童生徒支援に関する講話を実施する。

(4) 新たなボランティア制度の整備に向けた取組

- ・別室登校の児童生徒への対応をしていただく人材が不足していることから、大学生ボランティア制度を整備するために教育系の学部がある大学へ相談した。今後も引き続き、検討を行う。

(5) 不登校対策5者協議の実施

- ・教育政策課、教育サポートセンター、学校教育課、くま川教室、生涯学習課の5課で5月～10月の期間に4回不登校について協議し、情報共有と連携を図った。

令和7年度「地域学校協働活動」の主な実践事例（12月末現在） ※報償費を伴う事業

学校名	取組名	学校名	取組名		
代陽小	2・4年学習サポート	郡築小	1年下校見守り		
	4年校外学習サポート		5・6年家庭科調理実習補助		
	1・2・3年交通学習サポート		手芸クラブ活動補助		
	6年ミシン学習サポート		6年家庭科エプロンづくり補助		
	3年校外学習サポート		5年家庭科エプロンづくり補助		
	6年調理実習サポート		1年生活科芋調理補助		
	6年平和学習サポート		2年生活科町探検補助		
	放課後ピアサポートサロン		八代小	3年書写指導	
	5年ミシンサポート	クラブ活動支援			
	2年町探検サポート	交通教室協力依頼	宮地小	引き渡し訓練補助	
太田郷小	学習支援	町探検引率補助		クラブ活動オリエンテーション	
	1・2年交通指導教室撮影	日奈久小		クラブ活動（調理・将棋）指導	
	1年畑マルチ張りサポート		クラブ活動（絵手紙、調理、将棋、華道）		
	3・4年自転車教室サポート		1年下校指導補助		
	6年ミシンサポート	日奈久音頭指導	日奈久小	1・2・3年校外学習安全指導及び引率	
	2年町探検見守り	5・6年家庭科裁縫実習支援		地域学習（十五夜綱引き）指導	
	1年焼き芋サポート	絵手紙指導		2年日奈久出張所見学引率	
	書初め指導	2年日奈久出張所見学引率		クラブ活動（お手玉作り）指導	
植柳小	学習支援	1～3年地域学習講師・見学案内		1～3年ちくわ焼き体験講師	
	1～6年交通安全教室サポート	日奈久クリーン作戦		ひなぐ味噌工場見学案内	
	プール授業補助	3年書写指導		持久走安全確保のための見守り	
	1・2年芋料理サポート	持久走安全確保のための見守り		クラブ活動（グランドゴルフ）支援	
松高小	1年下校補助	昭和小		放課後子ども教室	
	1年町探検補助			松田神社祭奉納太鼓発表見守り	
	プール支援補助		5・6年家庭科裁縫サポート		
	6年ミシン支援補助		5・6年家庭科調理実習サポート		
金剛小	1年下校見守り		5・6年家庭科ミシン指導補助	餅つき手伝い、見守りサポート	
	学習準備サポート		二見小	1・2年交通安全指導	
	学習支援サポート			読み聞かせ	
	3年習字指導			放課後見守り	
	ミシン補助サポート	プールサイド草刈り・整備			
	3・4年総合学習サポート	1・2年下校指導			
	自転車講習会	雨乞い踊り指導			
特別支援おでんづくり支援	5・6年家庭科補助				
高田小	4年地域学習引率補助	3・4年州口探検補助		龍峯小	本の読み聞かせ
	1・2・4年プール見守り	八千把小			6年家庭科ナップザック制作支援
	クラブ活動講師				持久走安全確保と見守り
	5年調理実習補助	2年畑の畝づくり	八千把小	2年芋の苗植え	
	6年ミシン学習	2年芋の苗植え		3年書写の補助	
6年調理実習補助	3年書写の補助	3年水泳時の安全補助			
八千把小	2年畑の畝づくり	3年木工補助		2年芋ほり・調理補助	
	2年芋の苗植え	2年芋ほり・調理補助			
	3年書写の補助				
	3年水泳時の安全補助				
	3年木工補助				
	2年芋ほり・調理補助				

学校名	取組名	学校名	取組名
麦島小	1年下校見守り	泉八小	草刈り支援
	6年調理実習補助		花壇の整理、苗植え
	3年新麦島音頭指導		田植え準備、支援
	3年書写指導補助		プール掃除支援
	1～4年ふれあい学習会指導		縦木児童神楽指導
	5～6年ステップアップ学習会		稲作体験管理支援
	6年ミシン補助		校内美化支援
	1年芋料理支援		運動会準備支援
八竜小	田おこし、代掻き、田植え指導、鹿対策網設置		稲刈り、脱穀支援
	田んぼの水確認		一中
	読み聞かせ	二中	トーク・フォークダンス支援
	稲刈り体験支援	三中	サポーターによる別室登校生学習支援
	干した稲の徴収、脱穀、精米		地域未来塾(夏休み対応)
	リース作りの準備	四中	校内支援センター学習サポート
千丁小	1年下校指導見守り活動		水泳授業見守り
	読み聞かせ		美術授業支援
	4年認知症講話		地域未来塾(夏休み対応)
	交通教室		体育大会放送補助
	2年町探検見守り活動		家庭科ミシンサポート
	朝自習学習支援		日本語学習サポート
	作品展等賞状書き		書写サポート
	4年千丁の歴史授業支援	駅伝・持久走大会交通指導	
鏡小	樹木消毒	五中	フィールド学習
有佐小	中庭除草剤散布、樹木剪定、残枝片付け作業	六中	地域未来塾(学習支援)
	1・2年校外学習補助	七中	農業体験
	安全マップ作製		ウィンタースクール学習会学習補助
文政小	タマネギの除草・収穫	八中	みやじ学オリエンテーション・フィールドワーク
	トウモロコシのマルチ張り、植え付け		みやじ学発表会
	栽培委員会との野菜苗植え		ちなもい音頭講師
	ジャガイモの収穫	日奈久中	イチゴ狩り
	サツマイモの植え付け		俳句教室
	書写指導		地域未来塾(夏休み対応)
	トウモロコシの収穫		美化作業
	ふれあい農園手入れ・清掃		日奈久クリーン作戦
	芋ほり補助		地域未来塾(学習支援)
	レタスのマルチ張り	二見中	読み聞かせ活動
	タマネギの除草・収穫植え付け	地域未来塾(学習支援)	
	囃工のこぎりの補助	坂本中	職業講話
	町探検補助	千丁中	サポーターによる別室登校生支援
東陽小	就任式、始業式、入学式写真撮影	鏡中	サポーターによる別室登校生支援
	学習補助	東陽中	小中合同運動会写真撮影
	プール開き撮影		技術科学習指導支援
	水泳大会写真撮影		サポーターによる別室登校生支援
	栗剥き体験サポート		学習支援
	ミシン補助	門松作り支援	
	卒業アルバム用写真撮影	泉中	お茶摘み・お茶煎り体験支援
	持久走見守り		バス見送り
泉小	放課後子ども教室		運動場整備
			廃油石けん作り指導支援
		ミシン指導支援	
		八代支援	秋祭り補助

**令和8年度
八代市地域学校協働活動
事業計画（案）**

八代市地域学校協働本部

1 目指す姿

八代市に住む私たちが、幼稚園や各学校の縦のつながり、そして学校・家庭・地域という横のつながり、さらには、それ以外の立場の人たちも含め、子どもも大人もみんなが糸をつむいでいくよううまく関係し合い、生涯刺激し合いながら学習できる、ふるさと八代を目指していきます。

また、地域コーディネーターを中心に幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」機運を高めていきます。

さらに、地域と学校がビジョンや課題、情報等を共有し、熟議し、意思を形成する場である学校運営協議会を活用し、地域とともにある学校づくりを目指していきます。

基本コンセプト

目指す姿

地域とともにある学校づくり

実現の手段

地域や学校の実情に沿った地域学校協働活動の推進

学校運営協議会との一体的な推進

取組の柱

+

高める

地域の人的・物的資源を活用し、教育を学校内に閉じずに、地域の人々に支えられ学ぶことで、地域への愛着・学びへの意識、学力の向上を目指す。



+

伸ばす

すでに取り組んでいる活動を継続・充実させ、子どもたちとともに大人も学びあい、つながりを深め、実績を積み上げながら推進する。



+

変わる

学校が保護者や地域住民と教育目標を共有し、学校・家庭・地域の役割分担の中で学校運営を行う体制へ。教職員も地域の一員としての自覚と責任感を認識していく。



2 「八代市地域学校協働本部」が実現していくもの

(1) 「社会に開かれた教育課程」の実現

よりよい学校教育を通じて、よりよい社会を創るという目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育むため、学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的な推進を図っていく。

(2) 社会全体の教育力の向上及び地域の活性化

地域学校協働本部をベースに学校と地域が組織的に連携・協働する「地域学校協働活動」を確実に推進していくため、八代市教育振興基本計画に地域と学校との連携協力体制を整備することを盛り込み、地域とともにある学校づくりを推進していく。

(3) 「学校における働き方改革」の推進

学校及び教職員が担う業務の明確化・適正化のため、基本的に学校以外が担うべき業務としてPTAや地域ボランティア等が行ってきた取組事例を発信していく。

(4) 「地域の子どもは地域で守り育てる」機運の醸成

地域社会全体で、未来を担う子どもたちを守り育てていくための、多くの地域住民の参加が得られ、学校が求める支援の内容を踏まえて調整できる「地域コーディネーター」のより一層の人材育成を行っていく。

3 八代市地域学校協働活動事業の方向性

～やつしろの未来を拓く 地域学校協働活動の推進～

学校・家庭・地域、各種団体などが連携し、情報交換や相談体制の整備を進めるとともに、通学路の安全確保や地域における子どもの安全・安心な居場所づくりに努め、地域社会全体で子どもたちを育てる環境をすべての小・中・特別支援学校において整え、以下3つの事業に取り組んでいきます。

(1) 様々な学校協力活動

学校・家庭・地域が連携し、相互補完をしつつ、子どもたちの教育を一体的に支援するため、地域コーディネーターを配置し、学校における働き方改革につながるような取り組みを推進します。

また、不登校児童生徒に対する多様な教育機会の確保や地域住民で見守る環境を整えます。

(2) 地域未来塾

経済的な理由や家庭の事情により家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない生徒への対応策として、退職教職員などによる学習支援を行い、中学校における学力向上を図ります。

(3) 放課後子ども教室

放課後、帰宅するまでの時間を活用し、子どもたちの学習意欲の向上や遊びを通じた地域社会との交流を図り、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設けます。

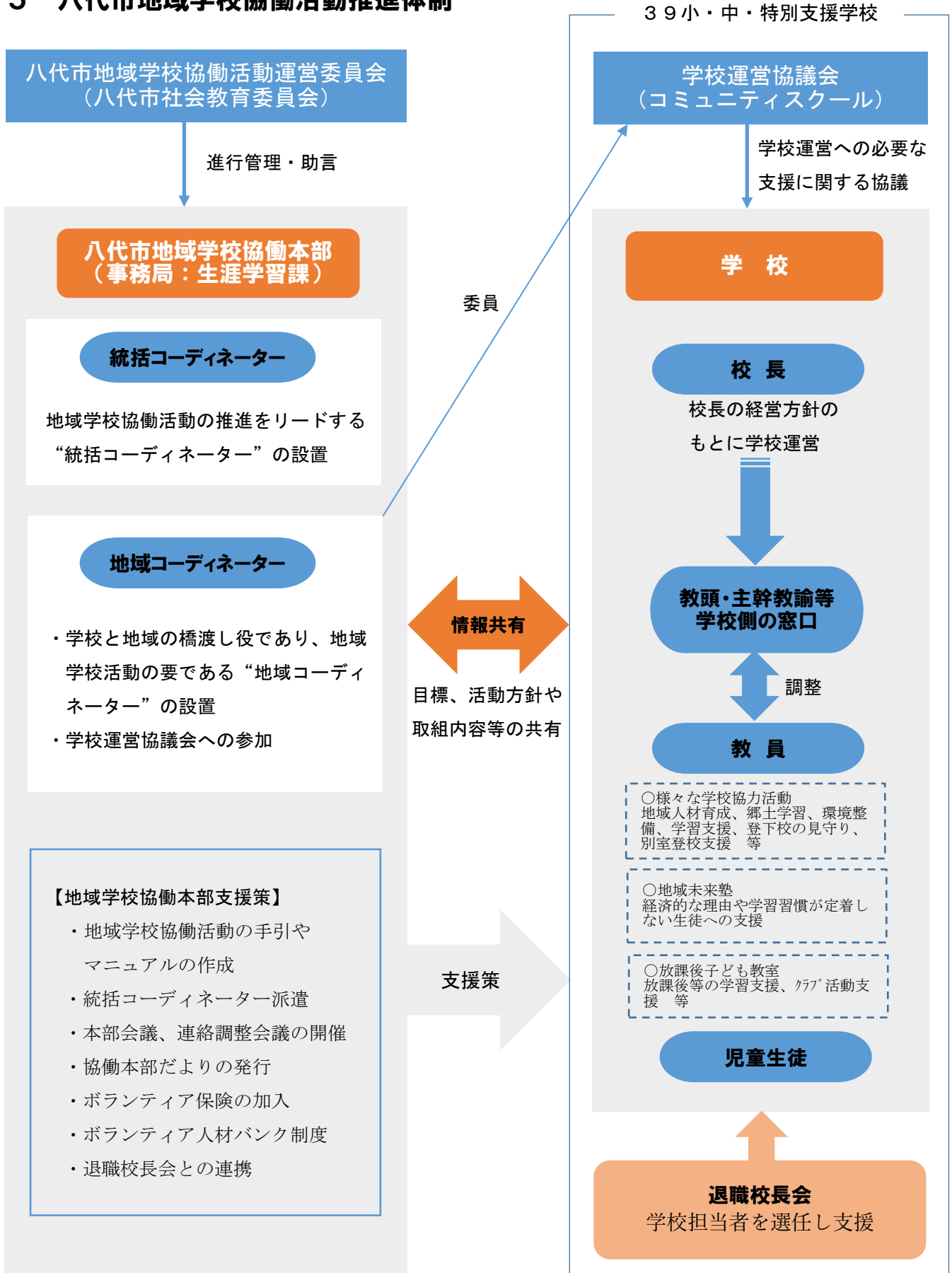
4 学校運営協議会（コミュニティ・スクール・CS）との効果的な連携

地域住民や保護者の意見を反映させる仕組みとして、学校運営協議会と地域学校協働活動の双方が機能することにより、次のような効果が期待できる。

- 学校運営の改善と連動した地域学校協働活動の推進
- 地域と学校の組織的・継続的な連携・協働体制の確立
- 子どもの教育に関する課題や目標等の共有による当事者意識の高まり

八代市地域学校協働本部の役割と支援策を明確にし、本部員である地域コーディネーターと連携強化を図り、併せて、各学校への情報提供を行い、支援策の活用を促していくものとし、学校運営協議会との一体的な推進に寄与していく。

5 八代市地域学校協働活動推進体制



6 令和8年度八代市地域学校協働本部活動内容

地域学校協働活動の推進にあたっては、現在、各学校で取り組んでいる学校支援活動を継続的・安定的に活動ができるよう、情報提供をはじめ状況に応じた支援を行っていきます。さらに、学校運営協議会との一体的推進を図り、各学校がより一層状況や特色に合わせた活動ができるよう推進します。

また、ボランティアに参加する方には、「できる人が、できるときに、できる範囲内」で行うことを基本とし、各学校のボランティア人材の確保を支援します。

(1) 地域学校協働活動について

地域コーディネーターが学校と連携し活動しやすい環境を整備し、各学校へ必要な支援を行います。

① 様々な学校協力活動

地域と学校が連携して取り組み、学校に関する課題解決につながる事業の推進を図ります。

② 地域未来塾・放課後子ども教室

学校と連携して、学習支援の年間スケジュールを学校と協議できるよう環境を整えます。

(2) 広報活動

- ・広報紙「協働本部だより（つなぐ）」を発行し、すべての地域コーディネーターや教職員、保護者に周知します。
- ・活動の様子をコミセンだより・市HP等により広く市民の方へ周知します。
- ・インスタグラム（SNS）等を活用した写真・動画投稿を通じて、広報活動を行います。 **※令和8年度より実施**

(3) 人材の確保と活用

- ・市報や市HPを活用し、ボランティア人材の確保に努めます。
- ・現在登録いただいている方々に、引き続き登録いただくよう依頼します。
- ・ボランティア人材バンクガイドブックを活用いただくよう、学校や地域コーディネーターに促します。

(4) 連絡調整会議

- ・地域コーディネーター間の情報共有と課題解決に向けた連絡調整会議を行います。
- ・地域学校協働活動に係る様々な情報を提供します。
- ・教職員と地域コーディネーターの交流を図ります。
- ・各校で取り組んでいる事例（特に人材確保や役割分担）に関する共有を図ります。

(5) 学校との連携

- ・年度初めに、新任管理職及び管外からの転入管理職への訪問を行い、本市の地域学校協働活動についての説明を行います。
- ・夏季休業中等を活用し、活動状況等を鑑みて、課題を抱える学校を中心に学校訪問や活動視察を行い、各校の実情や課題をヒアリングして対策等を検討します。
- ・地域コーディネーターについては、必要に応じて対面による相談を実施し、課題の共有と支援につなげます。

(6) 不登校・別室登校対策（令和8年度重点事業）

◎学校への支援

- ・別室登校児童生徒への支援が必要な学校に対し、他校への事例等の紹介を行いながら、地域人材（退職校長会・主任児童委員等）による支援を推進します。

◎地域人材への不登校・別室支援に関する理解促進

- ・連絡調整会議等を通じて、地域人材（地域コーディネーター、主任児童委員等）へ対象に不登校・別室登校に関する内容を含む研修会を実施します。

◎関係機関との連携

- ・教育委員会での5者協議（教育政策課、学校教育課、教育サポートセンター、くま川教室、生涯学習課）などを通じて情報共有と連携を強化し、対象児童生徒へのさらなる支援や居場所づくりに向けて、取り組みます。

(7) その他

- ・事務マニュアルを適宜見直します。
- ・各学校の要望及び実績に応じた予算を、可能な限り配当します。
- ・学校訪問等で教職員へ、他校の活動内容の情報提供を行います。また、人材バンクの活用や、学校全体で地域コーディネーターとコミュニケーションを取っていただくよう促します。
- ・各学校の活動を確認するため、各地域コーディネーターには活動の計画等を適宜報告いただくよう促します。

7 令和8年度年間スケジュール ※会議等の回数・時期は予定

月	活動内容	協働本部 (事務局)	統括コーディネーター	地域コーディネーター
4月	新任管理職及び管外からの 転入管理職への訪問	○	○	—
5月	協働本部会議	○	○	○
	第1回連絡調整会議	○	○	○
6月	第2回連絡調整会議	○	○	○
	協働本部だより(つなぐ)の発行	—	○	—
7月	夏休み期間中の学校訪問等	○	○	—
8月				
8月	第3回連絡調整会議 (ワールドカフェ)	○	○	○
9月	協働本部だより(つなぐ)の発行	—	○	—
10月	ボランティア募集(市報)	○	—	—
11月	第4回連絡調整会議	○	○	○
	協働本部だより(つなぐ)の発行	—	○	—
2～3月	第5回連絡調整会議	○	○	○
	協働本部だより(つなぐ)の発行	—	○	—
	市HP・コミセンだより・SNSへ 活動の様子を掲載	○	—	—
適宜	各学校へ活動の様子を見学	○	○	—

※本部会議を1回、連絡調整会議を5回実施する。

※これまで年度内に2度(5月と2月)開催していた本部会議は、5月のみ開催する。

令和7年度 熊本県社会教育委員連絡協議会 第2回理事会(報告)

- ・期日：令和8年(2026年)2月25日(水) 13:30~15:30
- ・会場：熊本県庁防災センター201会議室

【社会教育関連報告】

○第56回九州ブロック社会教育研究大会熊本大会

兼令和8年度熊本県社会教育研究大会・第71回熊本県公民館大会合同大会

- ・大会テーマ 熊本地震・豪雨からの復興、その先にある未来を見すえて
～社会教育の風が育む地域の力～

- ・期 日

令和8年11月5日(木)～6日(金)

- ・会 場

第1日目：分科会(11月5日 13:30~16:30)

第1分科会 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)大ホール

第2分科会 市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)大会議室

第3分科会 熊本市国際交流会館ホール

第2日目：全体会(11月6日 9:40~12:20)

市民会館シアーズホーム夢ホール(熊本市市民会館)大ホール

① 熊本大会実行委員会設置(次年度)

② 熊本県担当分科会テーマ

「災害への取組と社会教育の役割～災害時の教育支援活動の具体例と教訓～」

【その他資料】

- ・令和7年度熊本県社会教育委員連絡協議会第2回理事会概要
- ・社教情報94号